

神鍋山野草を愛でる会

この会は平成 21 年に地元会員 20 名で発足して以来 5 年が経過致しました。

3 年前にジオパークに承認されたのを機会に神鍋高原の自然豊かな場所を自然環境のままで一定のエリアを定期的に観察する方法にしてから、1 年目 400 種、2 年目 300 種、3 年目 150 種と神鍋高原で見られる野草花も今日までに 850 種も楽しんで会員も 52 名まで増えました。

観察した花も写真で残し道の駅に展示し、どなたでも楽しんで頂ける様にしています。

しかしながら、発足当時は考えもつかなかった問題も出てきました。

花の名前を図鑑等で調べても解らない時の最終的な相談場所が無かった事、観察した後のタジマタムラソウが盗掘された時の悲しみ、山野草ブームによる大掛かりなコシアブラ採取被害、ゴミ問題、外来種問題・・・等々です。

又、最近では増えすぎた鹿の被害が深刻で、溪谷のザゼンソウやサンカヨウ等に大きな被害が出ています。さらに住民の方々の中には山野草は雑草として見ている人も多く、モミジを植えた事でアケボノソウがその場所で消えてしまった事、又観光地として美しく見せる為、花が咲く前に刈り取るカセンソウ等新たな悩みも増えました。

その中であって昨年は神鍋高原で 18 年ぶりに発見したナツエビネや、結成して初めて見るツチアケビを猪や鹿被害と盗掘から守るため地主の了解の元、貴重種は囲いをして守りました。

会員も兵庫県下を始め鳥取県・京丹後市からも集い、昨年全行事に参加された 1 名の会員が初めて出ました。

今年も清滝地区や、阿瀬溪谷を地元の方と協力して山野草の愛で方、又その自然環境を守る大切さを発信して草花を大切に愛でる取り組みをこの地から広めてゆきたいと思っています。 具体的には 4 月～10 月は月 2 回 第 2 と第 4 火曜日さらに

11 月～3 月天候を見て月 1 回 の行事を会員の声を聞きながら楽しみ一つでも名前を覚え、心身共にリフレッシュし活動を続けて行きます。